



平成25年1月10日

各 位

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
代表者 代表取締役社長 奥村 浩士
(コード番号 4920)
問合せ先責任者 常務取締役経営統括本部長 土谷 康彦
(TEL 03-3456-0561)

平成25年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年4月17日に公表した平成25年2月期(平成24年3月1日～平成25年2月28日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,326	460	396	238	55.21
今回修正予想(B)	7,163	201	144	66	15.40
増減額(B-A)	△162	△259	△252	△171	
増減率(%)	△2.2	△56.4	△63.6	△72.1	
(ご参考)前期実績 (平成24年2月期)	7,182	401	322	314	72.96

平成25年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,368	391	224	52.11
今回修正予想(B)	6,116	194	114	26.58
増減額(B-A)	△251	△196	△110	
増減率(%)	△3.9	△50.3	△49.0	
(ご参考)前期実績 (平成24年2月期)	6,329	398	379	88.01

修正の理由

売上高につきましては、国内では第2四半期までは当初計画を上回るペースで受注を獲得してきたものの、第3四半期以降、円高の長期化や世界的な景気減速などの要因を背景に海外向け製品の出荷が減少するほか、中国・新興国での市場環境の激変により主要顧客でマーケティング戦略の見直し等が相次いだことが影響し、前回予想から減少する見込みです。利益面におきましても、売上高の減少に伴ない減益となることに加え、価格競争激化に伴う単価下落、主力の座間工場の一部設備の改修ならびに品質管理向上にむけた費用の投下などが影響し当初予想から減少する見込みです。

また、フランス子会社の業績につきましても第2四半期までは主力の医薬品事業が持ち直したことに加え、メイクアップ化粧品の新規受注が大幅に増加するなど、順調な業績推移を見込んでおりましたが、第3四半期以降、長期化する欧州経済の停滞や個人消費の冷え込みを背景に、域内同業他社との価格競争が激化するなど受注環境が一段と悪化したため、通期では厳しい事業運営を強いられる状況となりました。

この結果、平成25年2月期通期の業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益ならびに当期純利益がいずれも前回予想を下回る見込みとなったため、上記のとおり修正をいたします。

なお、期末配当金の予想額は、平成24年4月17日に公表した1株あたり10円であり、変更はありません。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上